

日本で再会

春節の休みを利用して、森家が日本に一時帰国する。秀麗と緑による旅行計画がようやく実現し、森家と佐藤家は関西地方を旅行する。

(待ち合わせ場所の新大阪駅新幹線改札口付近。秀麗が緑に気づき、手を振りながら近づく)

秀麗: 緑! 久しぶり! 元気だった? 5

緑: うん。みんなこのとおり元気よ。

(徹平と瑛士に向かって) 徹平, 瑛士。秀麗おばさんよ。ごあいさつしなさい。

徹平: こんにちは。

瑛士: こんにちは。

緑: もう。ちゃんとお辞儀しなきゃだめでしょ。 10

秀麗: まあ, まあ。そんな堅苦しいこと言わなくてもいいじゃないの。

(ホテルに着いて、次の日の打ち合わせをする)

秀麗: それで、これが明日からの予定表。移動はレンタカー借りたから。

緑: 了解。さすが秀麗, 用意周到ね。ありがとうございます。

秀麗: いえいえ。どういたしまして。 15

緑: それにしても、正倉院展は残念だったね。

秀麗: そうなんだよねー。秋だけのイベントで20日間しか開催されないって。

緑: 秀麗は正倉院展, 行ったことあるんだっけ。

秀麗: うん, ちょうど10年前かな。ペルシャとかインドとか, 1200年前の宝物が展示されていて, なかなか見ごたえがあったよ。

緑: そのほとんどが, シルクロードを通ってきたんだよね。

秀麗: うん。そうみたい。 25

緑: 実は, うち, 去年, 家族で敦煌とウルムチを旅行してね。次は「シルクロードの東の端」に行きたいねって言ってたんだ。

秀麗: そうだったの。楽しみにしていたのに, ごめんね。

緑: ううん。秀麗が謝ることないじゃない。また次回来ればいいよ。

秀麗: うん。そうね。ありがとう。 30



(遠くから声がする)

健太郎: おーい。夕飯何時から? おれたち, 腹, ペこペこ。

(緑と秀麗は顔を見合わせて笑う)

新出語彙1

しんおおさか (新大阪) [专] 新大阪

もう [叹] 真是的

レンタカー [名] 出赁汽车

よういしゅうとう (用意周到) [名・形2] 准备周到

しょうぞういん (正倉院) [专] 正倉院

ペルシャ [专] 波斯

ほうもつ (宝物) [名] 珍宝, 宝物, 宝贝

どんこう (敦煌) [专] 敦煌

ウルムチ [专] 乌鲁木齐

はし (端) [名] 端头; 边缘

ne point
ワンポイント

随意聊天中的正式表达

由于秀丽和绿的关系亲密, 两人之间会话用简体, 显得较为随意。其中, 有一处用了比较正式的表达, 即秀丽租了旅行用车, 绿对此表示感谢, 说“さすが秀麗, 用意周到ね。ありがとうございます。”秀丽则回应“いえいえ。どういたしまして。”在简体会话中, 绿的这句“ありがとうございます”显得她与秀丽的关系有些见外。但是, 在这里绿刻意使用了正式的说法, 为她的话添加了特别的含义。所谓特别的含义, 有时是表达对感谢的强调, 有时则带有开玩笑的口吻。

日语中有句谚语叫“親しき中にも礼儀あり”, 即关系亲密的人之间也应该注重礼节。因此, 连绿和秀丽这样关系密切的朋友之间也使用敬语向对方表达敬意, 这种情况在日常生活中也是很常见的。

シルクロードと日本人

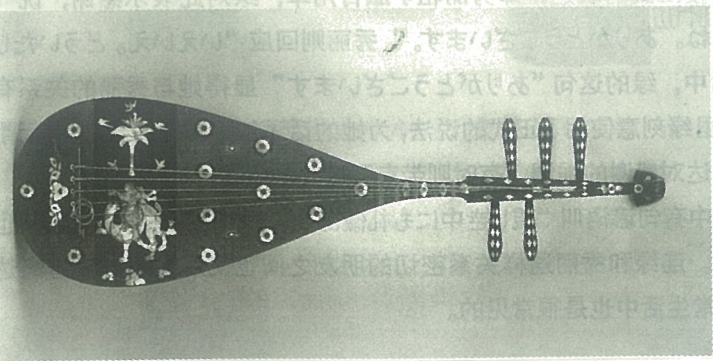
中国人にとって、シルクロードは、洛陽を東の端とするのが常識かもしれないが、日本人の中には、それよりさらに東の「奈良」まで延びていたという感覚を持っている人もいます。正倉院に保存されている数々の宝物を目にするたびに、「シルクロードの東端は奈良である」と実感する。



正倉院

「奈良の大仏」で知られる東大寺大仏殿の北西に、正倉院がある。正倉院は、仏教を深く信仰し、東大寺の大仏を建立した聖武天皇（701-756）とその皇后ゆかりの品々を保存した場所である。その数は9,000点あまりに及び、その多くは遣唐使が唐から持ち帰った美術工芸品であるといわれる。

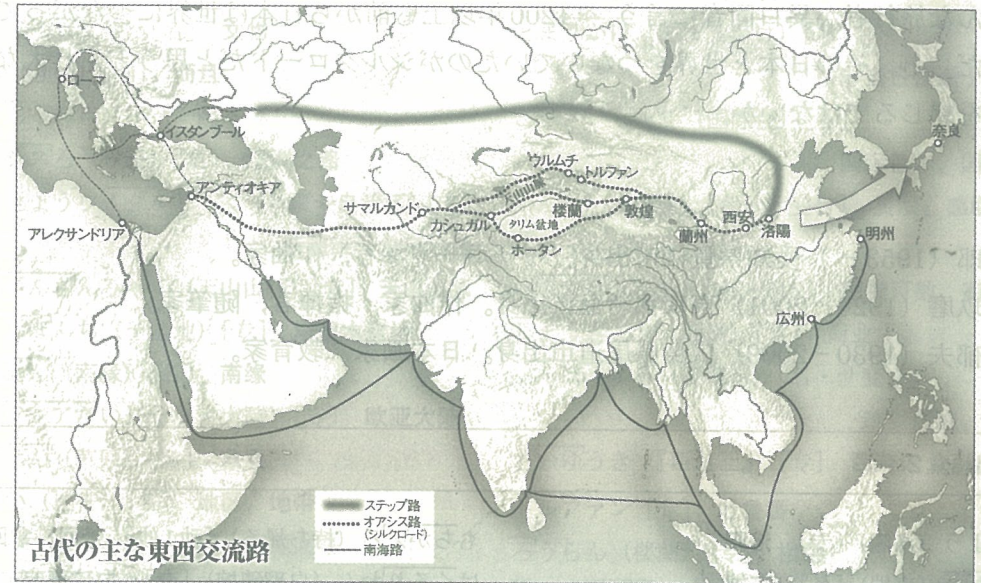
例えば、宝物の1つに「白瑠璃碗」というガラスの器がある。これと同じものがササン朝ペルシャ（現在のイラン）の遺跡から多く見つかっている。調査した結果、この「白瑠璃碗」は、1200年以上も前にペルシャからラクダに積まれ、シルクロードを通過して中国に伝えられた後、遣唐使の船に乗って日本にやってきたことが分かった。また、「螺鈿紫檀五弦琵琶」という宝物もある。世界で唯一現存する五弦の琵琶で、高度な技術による細工が施され、表面にはラクダに乗った吟遊詩人が描かれている。いかにもシルクロードを通過して日本に伝えられたことを物語っているような宝物である。ほかにも、ガラス製の瓶、杯などの器、ガラス玉の装飾品など、西域で作られた物がシルクロードを通過して日本に伝えられたことが判明している。他方、8世紀ごろに遣唐使に随行してペルシャ人が来日した記録も残っていることなどから、日本が唐代の東西交通路に連なっていたことは事実であり、日本人が「シルクロードの東端は奈良である」というのも、あながち理由のないこととはいえないのではないだろうか。



螺鈿紫檀五弦琵琶（正倉院蔵）

シルクロードは悠久の太古から、東アジアと西アジア、アジアとヨーロッパ、そして北アフリカとを結んできた。「絹の道」とも呼ばれるように、中国原産の絹が西アジアやヨーロッパに運ばれるとともに、多様な文物や技術がシルクロードを行き来した。そのため、シルクロードのルート上にある地域では、東西の文化が融合し、独自の5 変化を遂げてきたのだ。

アジアとヨーロッパ、北アフリカの三大大陸を結ぶルートは、広大且つ複雑である。例えば、現在の洛陽を起点としてローマに至る古代シルクロード「オアシス路」は、新疆ウイグル自治区に入って、天山山脈の北側を通るルートと南側を通るルート、そしてタリム盆地の南縁を通るルートなどに分かれる。このほか、ユーラシア大陸10 陸北部の草原地帯を通る「ステップ路」、広州から海に乗り出し、インド洋、アラビア半島に至る「南海路」もあった。さらに、洛陽を起点として東の明州（寧波）に至るルートもあり、その明州からは、日本の奈良につながる海路が存在していたということだ。



古代の主な東西交流路

日本人がシルクロードに強い関心を寄せるようになったのは、日中平和友好条約が15 締結（1978年8月12日）された2年後の1980年に、『NHK特集 シルクロード』が放映されてからである。多くの人たちが「シルクロード」という言葉にエキゾチックなイメージを強く抱いたのであった。あるいは喜多郎が作曲した「NHK特集シルクロード」のテーマ曲の影響もあったかもしれない。実は、それ以前にも、團伊玖磨が管弦楽組曲「シルクロード」を作曲したり、平山郁夫がシルクロードを旅し、仏教文化20 の伝来をモチーフに絵画を描いたりするなど、シルクロードに魅せられ、その思いを独自に表現していた日本人がいたことも忘れてはならない。

毎年秋になると、奈良国立博物館で正倉院の宝物展が開催される。第1回開催は1946年にさかのぼるが、以来、正倉院に保存されている宝物のうちから、毎年70点ほどが選ばれ、一般に公開されている。約20日間の会期中に訪れる人は、毎回10万人以上に上り、2009年にはその数は30万人近くに達した。毎年泊まりがけで正倉院展を見に行く熱心なファンもいるほどだ。そして、そのだれもが、はるか昔に唐をはじめ、インド、ペルシャ、遠くはギリシャやローマなどからもたらされた、国際色豊かな工芸品を目にして感嘆の声を上げ、シルクロードと日本のつながりを強く実感させられる。

シルクロードを訪ねる日本人旅行者も増えている。西安、敦煌はもちろんのこと、かつてはシルクロードのオアシスといわれ、現在では中国有数の工業・商業の中心地へと変貌したウルムチや、古くからシルクロードの重要な拠点として栄え、『西遊記』の舞台にもなったトルファン、千数百年の時間を砂の中で眠り続けた楼蘭などを訪ねる人々も多い。

そんな旅行者が異口同音に言う。「1200年以上も前から日本は世界につながっていたのだ」と。その日本と世界をつないでいたのがシルクロードだと思えば、壮大なロマンを感じるではないか。

【注】

喜多郎 (1953 -) 愛知県豊橋市出身。キーボード奏者、作曲家。

團伊玖磨 (1924 - 2001) 東京都新宿区出身。作曲家、指揮者、随筆家。

平山郁夫 (1930 - 2009) 広島県尾道市出身。日本画家、教育家。

新出語彙 2

- らくよう (洛陽) [名] 洛阳
- とうたん (東端) [名] 东端
- だいぶつ (大仏) [名] 大佛
- どうだいじ (東大寺) [名] 东大寺
- だいぶつでん (大仏殿) [名] 大佛殿
- こんりゅうする (建立~) [名・サ変他] (宗教) 建造, 兴建
- しょうむてんのう (聖武天皇) [名] 圣武天皇
- てんのう (天皇) [名] 天皇
- こうごう (皇后) [名] 皇后
- ゆかり [名] 关系, 因縁
- しなじな (品々) [名] 各式物品
- もちかえる (持ち帰る) [動1他] 带回, 拿回
- はくるりわん (白瑠璃碗) [名] 白瑠璃碗
- ササンちょうペルシャ (朝~) [名] 萨珊王朝波斯
- イラン [名] 伊朗
- ラクダ [名] 骆驼
- らでんしたんのごげんびわ (螺鈿紫檀五弦琵琶) [名] 螺鈿紫檀五弦琵琶
- げんそんする (現存~) [名・サ変自] 现存
- こうど (高度) [名・形2] 高度
- さいく (細工) [名・サ変他] 工艺 (品)
- ぎんゆうしじん (吟遊詩人) [名] 吟游诗人

- ものがたる (物語る) [動1他] 讲述, 讲; 说明
- ばい/さかずき (杯) [名] 酒杯, 杯子
- ガラスだま (~玉) [名] 玻璃球
- そうしょく (装飾) [名・サ変他] 裝飾
- さいいき/せいいき (西域) [名] 西域
- でんらいする (伝来~) [名・サ変自] 传来
- ずいこうする (随行~) [名・サ変自] 随行
- どうざい (東西) [名] 东西
- つらなる (連なる) [動1自] 连接, 延綿; 成列
- あながち [副] 未必, 不一定
- たいこ (太古) [名] 太古
- にアシア (西~) [名] 西亚
- きたアフリカ (北~) [名] 北非
- げんさん (原産) [名] 原产
- ぶんぶつ (文物) [名] 文物
- かつ (且つ) [副] 而且
- きてん (起点) [名] 起点
- オアシスろ (~路) [名] 绿洲之路
- しんきょうウイグルじちく (新疆~自治区) [名] 新疆维吾尔自治区
- てんざんさんみゃく (天山山脉) [名] 天山山脉
- タリムぼんち (~盆地) [名] 塔里木盆地
- なんえん (南縁) [名] 南縁
- ユーラシアたいりく (~大陸) [名] 欧亚大陆
- そうげん (草原) [名] 草原
- ちたい (地帯) [名] 地区, 地帯
- ステップろ (~路) [名] 草原之路
- のりだす (乗り出す) [動1自] 乘~出去; 登上……舞台
- インドよう (~洋) [名] 印度洋
- アラビアばんとう (~半島) [名] 阿拉伯半島
- なんがいろ (南海路) [名] 南海之路
- めいしゅう (明州) [名] 明州
- ニンポー (寧波) [名] 宁波
- がいろ (海路) [名] 海路
- にっちゅうへいわゆうこうじょうやく (日中平和友好条約) [名] 中日和平友好条約
- ていけつする (締結~) [名・サ変他] 締結
- ほうえいする (放映~) [名・サ変他] 放映
- エキゾチック [形2] 异国风情, 异国情调
- いだく (抱く) [動1他] 抱, 搂
- きたろう (喜多郎) [名] 喜多郎
- さつきよくする (作曲~) [名・サ変自他] 作曲, 创作曲子
- だんいくま (團伊玖磨) [名] 团伊玖磨
- かんげんがく (管弦楽) [名] 管弦乐
- くみきょく (組曲) [名] 组曲
- ひらやまいくお (平山郁夫) [名] 平山郁夫
- みずる (魅する) [サ変他] 吸引, 使人入迷
- ならこくりつはくぶつかん (奈良国立博物館) [名] 奈良国立博物館
- かいき (会期) [名] 展期
- とまりがけ (泊まりがけ) [名] (非当日往返) 留宿
- こくさいしょく (国際色) [名] 国际色彩, 国际性
- かんたん (感嘆) [名・サ変自] 赞叹, 感叹
- オアシス [名] 绿洲
- ゆうすう (有数) [名・形2] 屈指可数, 有数
- しょうぎょう (商業) [名] 商业
- へんぼうする (変貌~) [名・サ変自] 改变面貌, 变身
- さいゆうき (『西遊記』) [名] 西游记
- トルファン [名] 吐鲁番
- ろうらん (楼蘭) [名] 楼兰
- いこうおん (異口同音) [名] 异口同声
- そうだい (壮大) [名・形2] 宏大, 壮观, 雄伟
- ロマン [名] 浪漫
- あいち (愛知) [名] 爱知県
- とよはし (豊橋) [名] 丰桥市
- キーボード [名] 鍵盤
- おのみち (尾道) [名] 尾道市
- ろ (~路) ~之路

解説

1. 课文特点 [议论文]

本课课文是议论文的一种。与说明文对事实进行符合逻辑的叙述不同，议论文多在列举事实的同时阐述笔者对该事实的思考及感受。为此，文章中采用了表示笔者推测的“～かもしれない”（□□初级第26课），以及“～のではないだろうか”（□□高级第1课），或把自己的观点提交读者判断的“～ではないか”（□□本课讲解13）之类的表达方式。

■正倉院は、仏教を深く信仰し、東大寺の大仏を₂建立した聖武天皇（701-756）とその皇后ゆかりの₃品々を保存した場所である。

2. 建立

建造寺庙、佛堂、佛塔等日语中称为“建立”，但这个词不能用于建造其他建筑物。大兴土木建造某建筑可以说“造営（兴建）”。

▶ 法隆寺の五重の塔は7世紀に建立された。（法隆寺の五重塔は7世紀建造の。）

▶ 北京の北西には、清の時代に造営された頤和園がある。

（北京西北有清代兴建的颐和园。）

3. 品々

“品品”表示各种各样的物品。日语中可以用同形重叠的形式造词，例如“人人（人们）”“種種（种种）”“散散（不堪入目、惨重）”“端端（细微之处）”等。重叠部分可简写为“々”，后部的第一个音一般会变成浊音，如“人々”。

▶ 電車は遅れるし、エレベーターには閉じ込められるし、散々な1日だった。

（电车晚点不说，还被关在电梯里，可真是祸不单行的一天。）

▶ 司会者の動作の端々に緊張している様子が見えた。

（从举手投足中看得出主持人很紧张。）

■₄例えば、宝物の1つに「白瑠璃椀」というガラスの器がある。

■₄また、「螺鈿紫檀五弦琵琶」という宝物もある。

■₄ほかに、ガラス製の瓶、杯などの器、ガラス玉の装飾品など、…

4. “例えば”“また”“ほかに” [列举]

在列举3件以上的物品时，日语多用“まず、A。また、B。さらにC。ほかにD、E、F、…などがある”的说法。有时也用“例えば”代替“まず”。还可以省略“さらにC”，用“まず、A。また、B。ほかにC、D、E、…”。

▶ 欧米の学習者にとって日本語は難しいといわれている。まず、表記方法に、平仮名、片仮名、漢字の3種類がある。また、日本語の文法が英語などとは大きく異なっている。ほかに、強弱アクセントではなく高低アクセントであること、男性と女性で話し方が異なることなど、その理由は多い。（对欧美学习者来说，一般认为

日语很难。首先书写方式上就有平假名、片假名和汉字3种；其次，日语语法与英语等大相径庭；此外，还有不是强弱重音而是高低重音，男女说法也不一样等等，原因很多。）

此外，在按顺序讲述时，“まずは～、さらに～、それに加えて、～”（□□高级第16课）等表达方式也很常用。

■日本が唐代の東西交通路₅に連なっていたことは事実であり、…

■その明州からは、日本の奈良₅につながる海路が存在していたということだ。

5. “～に連なる”和“～につながる”

“連なる”有3个意思：①排成一列没有间断。从中引申出②为某集体的一员，③出席某会议。课文中用的是①。

▶ 多くの山々が連なっているのが見えた。[①]（看到重山连绵。）

▶ この寺には徳川將軍家に連なる人々が眠っている。[②]（徳川將軍家族相關的人長眠在這座寺廟里。）

▶ 友人の結婚式に参加して、喜びの席に連なることができうれしかった。[③]（參加朋友的婚禮，能夠列席這喜慶的宴席，非常高興。）

“つながる”有3个意思：①几个互相分开的事物聚集到一起，成了一个事物。由此引申出②两个以上的事物由于某种关系而联系到一起；③几个事物连成一串的状态。课文中是①的用法。

▶ 九州から北海道まで高速道路でつながっている。[①]（九州和北海道以高速公路连接在一起。）

▶ ちょっとした油断が失敗につながってしまった。[②]（一点微小的疏忽造成了失败。）

▶ 渋滞で車が20 km以上つながっている。[③]（交通堵塞导致车辆拥堵20千米以上。）

“つながる”③与“連なる”①的意思类似，区别在于“つながる”表示整体连成一条线状，而“連なる”所连结的事物是多个独立的个体。

■日本人が「シルクロードの東端は奈良である」というのも、あながち理由のないこととはいえないの。ではないだろうか。

6. あながち～ではない

“あながち”与句尾的否定形式相呼应，表示“某主张或判断不能完全否定”，带有反对硬下判断的含义。

▶ 彼女の意見もあながち間違いではないかもしれませんね。（也許她的意見也不一定就錯了。）

▶ 「同期の王さんが来年昇進する」とうわさされている。仕事ぶりを見ると、あながちうわさだけじゃないかもしれない。

（有传说说同期的老王明年晋升。从他工作的劲头来看，或许不仅是传言。）

■現在の洛陽₇を起点₇としてローマに至る古代シルクロード「オアシス路」は、新疆ウイグル自治区に入って、…

■仏教文化の伝来₇をモチーフ₇に絵画を描いたりするなど、…

7. “～を～として” “～を～に”

“名1を名2とする”与“名1を名2にする”都有表示“把名1按照名2的性质来对待”的用法。

▶ 今回話し合った内容を最終的な結論として、理事会に報告します。
(我将把这次商讨的内容作为最后的结论向理事会汇报。)

▶ 投票の結果、田中氏を会長とすることに決定した。
(投票的结果，决定把田中先生推举为会长。)

▶ 大先輩の山田さんを目標にして頑張ります。
(我将把老前辈山田先生做为目标，努力工作。)

▶ 投票の結果、田中さんを会長にすることが決まった。
(投票的结果，确定把田中先生推举为会长。)

“～を～とする”与“～を～にする”相比较，前者更有书面语色彩。另外，还有把“～を～にして～”中的“して”省略掉，变成“～を～に～”的形式，“～を～に～”要比“～を～にして～”书面语色彩更浓。

▶ 彼は病気を口実に会議を欠席した。(他以生病为借口缺席了会议。)

■広州から海に。乗り出し、インド洋、アラビア半島に至る「南海路」もあった。

8. 乗り出す

“乗り出す”本来是①乘船出发的意思，引申为②开始做某事或主动进入某个领域。课文中用的是①。

▶ 少年たちは、自分たちで作ったいかだで荒海に乗り出した。[①]
(少年们乘着自己造的木筏向波涛汹涌的大海进发了。)

▶ 警察は、真相の究明に乗り出した。[②] (警察着手探查真相。)

■日本人がシルクロードに強い関心を。寄せるようになったのは、…

■多くの人たちが「シルクロード」という言葉にエキゾチックなイメージを強く抱いたのであった。

9. “寄せる”和“抱く”

“寄せる”用于表示对人抱有“好意”“同情”“期待”等具有积极意义的感情，而“抱く”则仅表示某种想法或感情。课文中的“日本人がシルクロードに強い関心を寄せるようになったのは、…”是把丝绸之路拟人化的表达。

▶ うちの娘は担任の先生に好意を寄せているようだ。
(我女儿好像对她的班主任有好感。)

▶ 政府の経済政策が景気回復の起爆剤となるかどうか、大いに疑問を抱いている。
(政府的经济政策是否对景气复苏发挥引爆作用，我对此抱有很大的疑问。)

■シルクロードと日本とのつながりを強く実感₁₀させられる。

10. ～させられる [使役被动形式]

使役形式表达的内容进一步加上被动叫做“使役受身(使役被动形式)”(□□初级第43课)。例如，“小学生のころ、わたしは母親に毎日漢字の練習をさせられた(上小学时，我被妈妈逼着每天练习写汉字)”。这个句子中练习汉字的是我，促使他去做的是妈妈，是一个从被使役者(我)的角度叙述的句子。因为全句整体为一个被动句，让其练习的动作主体“母親”用助词“に”来表示。使役被动句用动词的使役被动形式。其构成如下：

动词的种类	基本形	使役形式	使役被动形式	
一类动词	書く	書かせる／書かす	書かせられる／書かされる	
	歩く	歩かせる／歩かす	歩かせられる／歩かされる	
	飲む	飲ませる／飲ます	飲ませられる／飲まされる	
	待つ	待たせる／待たす	待たせられる／待たされる	
二类动词	食べる	食べさせる	食べさせられる	
	いる	いさせる	いさせられる	
三类动词	カ变动词	来る	来させる	来させられる
	サ变动词	する	させる	させられる

一类动词中，比如“書く”的使役形式“書かせる”以外，还有表示同样意思的动词“書かす”。与“書かせる”的使役被动形式“書かせられる”相比，“書かす”的使役被动形式“書かされる”更为常用。像“書かす”这类动词是将一类动词ない形的“ない”变成“す”，再作为一类动词活用。

▶ 乗っていた電車が事故で動かなくなり、いちばん近くの駅まで歩かされた。
(我乘坐的列车因事故抛锚了，只好走了一站地。)

▶ お酒をたくさん飲まされて、翌日、頭が痛くて大変だった。
(被灌了好多酒，第二天头疼得受不了。)

此外，除了别人的强制行为，使役被动形式还用于“痛感する”“気づく”等与思考相关的动词，表示自然产生那种想法。

▶ 雄大な自然を目の前にして、人間の小ささを痛感させられた。
(在雄伟的大自然面前，不由痛感人的渺小。)

▶ 海外で暮らしてみて、当たり前だと思っていた自国の習慣に特殊なものが多いということに気づかされた。
(在海外生活了一段时间后，发现原本认为理所当然的本国习惯中有很多是很特殊的。)

■ 11 そんな旅行者が異口同音に言う。「1200年以上も前から日本は世界に 12 つながっていたのだ」11 と。その日本と世界をつないでいたのがシルクロードだと思おうと、13 壮大なロマンを感じる 13 ではないか。

11. 倒装句②

“～と”表示引用，课文中的句子按照常规说法是“そんな旅行者が異口同音に，1200年以上も前から日本は世界につながっていたのだと言う。”但是，在用“言う”“思う”“考える”等表示思维的动词句中，为了强调引用的部分，时常将其提出来与“と”一起后置。这种倒装手法（□□高级第13课）在文学作品中很常见。

- ▶ その容疑者は言い残した。「真犯人は別にいる」と。
(“另有真凶。”嫌疑犯撂下了这样一句话。)
- ▶ その学生は考えた。「日本の政治はきちんと機能しているのだろうか」と。
(“日本政治是在正常运转吗？”那个学生这样想到。)

12. 使用自动词的表达

“日本は世界につながっていた”还可以说成“シルクロードが日本と世界をつないでいた”，但日语不太喜欢用非生物做主语，所以才多采用“日本は世界につながっていた”这样的说法。由此也可看出，与汉语相比，日语多用自动词或被动形式（□□高级第19课）。不过要注意以下情形。

- ▶ お借りしていた時計が壊れてしまって…。申し訳ありません。[①]
(我跟您借的表坏了，对不起。)
- ▶ お借りしていた時計を壊してしまって…。申し訳ありません。[②]
(我把跟您借的表给弄坏了，对不起。)

①②都是说话人告诉物主因为自己不小心，借来的表坏掉了。在这种场合，使用自动词的①“時計が壊れてしまって…”是不妥当的。这种表达给人感觉说话人主张自己没有任何责任。日语中即便说话人实际上并无责任，一般也要用自己承担责任的说法②“時計を壊してしまって…”。由于汉语在物品损坏时说“坏了”，所以把借来的东西弄坏了（日语应该说“壊した”）时，往往容易说成“壊れた”，这样会给人留下推脱责任的极坏印象，要特别注意。

13. ～ではないか

“～ではないか”是“～じゃないですか”的书面语形式（□□高级第4课）。与“～じゃないですか”一样，前面一般接名词、一类形容词、二类形容词、动词的简体形式，但名词、二类形容词的现在肯定形式后面不加“だ”。

用于口语的“～じゃないですか”接在名词、二类形容词的现在肯定形式后面时句尾有时读降调，有时读升调。而主要用于书面语的“～ではないか”在意思上与“～じゃないですか”相同，但只能读降调，至于它相当于“～じゃないですか”读升调时还是读降调时的意思，只能根据上下文来判断。

- ▶ 会社の前に止めてある車は副社長の車ではないか。
(停在公司门前的车不是副总经理的车吗?)

根据上下文，上面的例句有时表示疑问，有时则表示确认眼前的事实并含有吃惊的语气。“～ではないか”在与表示过去或现在事实的成分一起出现时，所起的作用是要读者或听话人确认某种事实。

- ▶ この方針は，会議の出席者の過半数の賛成によって決定したではないか。
(这个方针，不是得到出席者过半数的赞成才决定的吗?)

像课文中的句子那样，当与表示个人感情、印象的成分一起使用时，表示那种感情或印象并非作者或说话人所独有，而是认为读者、听者也会有同感。

- ▶ 首相は公式な記者会見で述べたことを個人的な見解だと言っているが、おかしな話ではないか。

(总理说他在正式记者会上讲的话属于个人见解，这难道不是奇谈怪论吗?) 此外，当“～ではないか”用在动词意志形后面时，表示“提议”。

- ▶ 年金制度の改革は，すべての国民の生活に関わることであるから，国民的な議論を尽くして決めていこうではないか。

(退休金制度的改革事关国民生活，难道不应该在全民充分讨论后决定吗?)

专栏

正倉院

“正倉”本来是收存税稻的仓库的意思，奈良时代（710-794）曾是保管从各地收来稻米、谷物、物品的仓库。寺院里也有收藏从本寺领地化来的物品的仓库，称为“正倉”。将寺院内的正倉用墙围起来的地方就称为“正倉院”。

现在称为“正倉院”的建筑指原东大寺的仓库，明治以后改为由国家管理，保管了与圣武天皇、光明皇后有关的物品以及大量工艺美术品（1963年移至新的宝库）。该建筑维持了奈良时代兴建时的原貌，作为“古都奈良の文化財（古都奈良文物）”之“東大寺”的一部分，列入联合国教科文组织登录的世界文化遗产。

関連語彙

●「物」を用いた慣用表現

●物のわかる(懂道理, 懂事)

▶ 20歳といえば, もう物が分からない年齢ではないはずだ。

(都20岁了嘛, 要说已经是该懂道理的年龄了。)

●物ともしない/物ともせず(不当回事)

▶ 陸上競技の100m走で, その選手は逆風を物ともせず, 世界新記録を出した。

(在田径比赛的100米项目中, 该选手在逆风下刷新了世界纪录。)

●物になる(取得预期的成果; 成为响当当的人物)

▶ 物にならない研究に投資はできない。(出不了成果的研究我们是不能投资的。)

▶ わたしは, この新人は必ず物になると見込んでいる。

(我看好这位新人肯定能干出名堂来。)

●物の弾み(在当时情景的影响下; 一时兴起)

▶ 物の弾みでつい暴言を吐いてしまったが, とても後悔している。

(话赶话地我不慎说出了过分的话, 现在非常后悔。)

●物の見事に(漂亮地, 干净利落地)

▶ その小柄な力士は, 大きな力士を物の見事に投げ飛ばした。

(小个子力士把大个子力士干净利落地扔出了场外。)

●物は言いよう(话凭嘴说)

▶ 公衆トイレを汚されたくない場合, 「トイレを汚すな」と書くか「いつもきれいに使っていただいております」と書くかで, だいぶ印象が変わる。物は言いようで, 言い方によって効果も違ってくる。

(当不希望公厕被人弄脏时, 条幅上是写“别把厕所弄脏”还是写“谢谢您保持了厕所的清洁”, 给人的印象大不相同。说法不同, 效果也会不一样。)

●物は考えよう(要想得开; 事情就看怎么想)

▶ 物は考えようだ。今度の異動は新しい可能性を発見する機会だと考えることもできる。(事情就看怎么想。这次调职, 你也可以看做是发现自己新潜能的好机会。)

●物は相談だが(请求别人帮忙时的固定说法)

▶ 物は相談だが, 来月の海外視察, わたしの代わりに行ってもらえないだろうか。

(常言道“有事要找贵人相助”, 下个月的海外视察, 能不能请你代我跑一趟?)

●物は試し(空发愁不如做做看)

▶ 物は試しにブログを始めたが, 毎日更新するのが楽しくてならない。(有道是“空发愁不如做做看”, 我开始了自己的博客, 没想到每天的更新让我感到乐不可支。)

●物を言わせる(依靠某事物)

▶ 彼は金に物を言わせて政治家になった人だ。政治理念などあるはずがない。

(这人是靠金钱开路才当上政治家的, 怎么可能有什么政治理念!)

新出語彙3

ぞうえい(造営)[名・サ変他] 兴建, 营造

いわえん(颐和園)[专] 颐和园

しゅじゅ(種種/種々)[名] 种种, 各种, 多种

はしばし(端端/端々)[名] 细微之处

ひょうき(表記)[名・サ変他] 书写, 记载; 标明; 表面记载

きょうじゃく(強弱)[名] 强弱

こうてい(高低)[名] 高低

やまやま(山々)[名] 群山

しょうぐん(将軍)[名] 将军

どうき(同期)[名] 同期, 同一时期

りじかい(理事会)[名] 理事会

いかだ[名] 木筏, 筏子, 木排

あらうみ(荒海)[名] 波涛汹涌的大海

きゅうめい(究明)[名・サ変他] 探究明白, 调查明白

きぼくざい(起爆剤)[名] 起爆药

つうかんする(痛感~)[名・サ変他] 痛感, 深切地感觉到

ようぎしゃ(容疑者)[名] 嫌疑犯

いいのこす(言い残す)[动1他] 留下话, 留言, 撂下(一句话); 没有说完

しんぱんにん(真犯人)[名] 真凶, 真罪犯

きしゃかいけん(記者会見)[名] 记者招待会

かいけん(会见)[名・サ变自] 会见, 接见

けんかい(見解)[名] 见解

こじんてき(個人的)[形2] 个人的

こくみんてき(国民的)[形2] 国民的

練習

1. 本文を読んで以下の質問に答えなさい。

- (1) () に適切な言葉を入れて、「日本人」が「シルクロードの東端は奈良である」と実感する理由を述べなさい。
- ①正倉院の宝物の1つに、() があり、これと同じものが () から多く見つかった。
- ②() という宝物は、() で、表面に () が描かれており、シルクロードを通過して運ばれたことを物語っているように感じる。
- ③ガラス製の瓶、杯などの器、ガラス玉の装飾品など、西域で作られた物がシルクロードを通過して () ことが判明している。
- ④8世紀ごろに () 記録が残っている。
- (2) 本文の内容に合っていれば○を、そうでなければ×を付けなさい。
- ①シルクロードという名前は、中国の絹が西域などの地域に運ばれたことからつけられた。 ()
- ②シルクロードのほかに、「オアシス路」「ステップ路」などの交流ルートがあった。 ()
- ③「オアシス路」と呼ばれた古代の道は、天山山脈の北、天山山脈の南、タリム盆地の南などを通るルートに分かれていた。 ()
- ④「ステップ路」「南海路」は、ともに海を通るルートである。 ()
- ⑤明州(寧波)からは、日本の奈良に向かう海路があったといわれている。 ()
- (3) 次の下線部が指している内容は何ですか。
- ①「その多くは遣唐使が…」(p142, 11行目)
- ②「その思いを独自に表現していた…」(p143, 21行目)
- ③「そのだれもが、はるか昔に…」(p144, 5行目)
- (4) 「壮大なロマンを感じるではないか」(p144, 15行目)と同じ意味の文を選び、○を付けなさい。
- ①壮大なロマンをわたしは感じない。あなたは? ()
- ②壮大なロマンをわたしは感じる。あなたは? ()
2. □ から、() に当てはまる表現を選び、適切な形に変えて書きなさい。
- (1)シルクロードには、洛陽を () ローマに至るルートがあった。
- (2)中国旅行をきっかけにして、文化財の保護に関心を () ようになった。
- (3)谷村さんは、昆虫、特にチョウを () 絵を描いている。
- (4)トルファンは『西遊記』の () 場所だ。
- (5)日本人の多くは、「シルクロード」という言葉にエキゾチックな () 。

起点とする	イメージを抱く	感嘆の声を上げる
舞台になる	モチーフにする	寄せる

3. 適切なほうを選びなさい。

- (1) 甲: 急に雨が降ってきて、服が (ぬれて・ぬらして) しまったわ…。
乙: 風邪を引かないように、早く (乾かし・乾い) たほうがいいよ。
- (2) 甲: あのを、携帯電話が (落とされました・落ちました) よ。
乙: ありがとうございます。あれっ、電源が (入れ・入ら) なくなっちゃった。
- (3) 甲: 店長、すみません。皿 (が割れてしまいました・を割ってしまいました)。
乙: 君、(割れた・割った) んじゃなくて、(割れた・割った) だろう。
- (4) 2丁目にある家は、10年以上も前に、持ち主 (が亡くなって・を亡くして) いて、今はだれも住んでいない。門は (倒れて・倒して) いるし、壁紙は (破れ・破り)、もちろん窓のガラスは (割れて・割って)、ほとんど残っていない。

4. 録音を聞いて、次の質問に答えなさい。

- (1) () に適切な言葉を入れ、文を完成しなさい。

7時のニュースです。
本日、奈良国立博物館において、正倉院展が^① ()。好天に恵まれた早朝から1,200人が^② ()、午前9時の開館を^③ ()など、初日から^④ ()にぎわいました。今年は平城京遷都1300年の年にあたり、^⑤ ()件の宝物展示のうち、^⑥ ()件が初出展となりました。中でも注目されるのは、インド起源の五弦琵琶として^⑦ ()とされる「螺鈿紫檀五弦琵琶」などです。ほかにも、酔ったペルシャ王を表した伎楽面「酔胡王」や西域の皮袋をかたどった水入れ「漆胡樽」など、^⑧ ()が並び、観覧客は遠いシルクロードの世界へと想像をふくらませていました。
なお、本展覧会は11月11日まで^⑨ ()、会期中はお休みがありません。^⑩ ()までです。ただし、金曜・土曜・日曜と11月3日は午後7時までとなっています。入場料などは^⑪ ()。

- (2) 完成した(1)の文を読んで、録音された質問に答えなさい。

① () ② () ③ () ④ () ⑤ ()

5. 必要があれば、下線に入る言葉を適切な形に変えて、録音を聞きながら会話の練習をしなさい。

甲: 実は、うち、去年、家族で敦煌とウルムチを旅行してね。
次は「シルクロードの東の端」に行きたいねって言ってたんだ。

乙: そうだったの。楽しみにしていたのに、残念だったね。

甲: ううん。また次回来ればいいから。

- (1) 鎌倉と横浜を旅行する / 東京ディズニーランドに行く
- (2) 北京と天津を旅行する / 上海で雑技団のショーを見る
- (3) パリに留学している娘の所に行く / ゆっくりヴェルサイユ宮殿を見学する

6. 次の会話の下線部を、敬体に直しなさい。

(1) 秀麗: ①緑! 久しぶり! 元気だった?

緑: ②うん。みんなこのとおりに元気よ。徹平、瑛士。秀麗おばさんよ。ごあいさつしなさい。

徹平: こんにちは。

瑛士: こんにちは。

秀麗: もう、ちゃんとお辞儀しなきゃだめでしょ。

緑: ③まあ、まあ。そんな堅苦しいこと言わなくてもいいじゃない。

(2) 秀麗: ①それで、これが明日からの予定表。移動はレンタカー借りたから。

緑: ②了解。さすが秀麗、用意周到ね。ありがとうございます。

7. 不適切な部分に下線を引き、適切な形に直しなさい。

東アジアの中国、韓国、日本などの国では、受験戦争を勝ち抜くために、親は子供に勉強されることが第1で、子供が家事を手伝うことはもちろん、自分の部屋を掃除することなどもないようだ。昔はどここの国でも、親は子供に家の掃除をさせられたり、食事の手伝いをさせられたりしたものだ。子供にしてみれば、手伝いをさせられるより、外で遊ぶほうがいいので、学校から帰ると、かばんをこっそり玄関に置いて、親に黙って遊びに出かけた人も多いただろう。

一方、地球上には学校に入れるどころか、家で勉強されることもできずに、水くみをさせたり、家畜の世話をさせたりしている子供もたくさんいる。食べ物も十分ではなく、健康を維持することもできない子供たちがいるのを見ると、本当に心が痛む。地球上の子供たちみんなが幸せな生活を送られることができる日が、いつか来ることを祈らせずにはいられない。

8. 次の中国語文を日本語に翻訳しなさい。

- (1) 乌鲁木齐曾经称为丝绸之路的绿洲，现在已经变为中国屈指可数的工、商业中心。
- (2) 吐鲁番自古作为丝绸之路的重要据点而繁荣，也是《西游记》的舞台。
- (3) 曾有日本人为丝绸之路的魅力所吸引，通过创作音乐或绘画，将其情怀付之于独特的表达，如团伊玖磨、平山郁夫等。
- (4) 人们似乎认为，日语由于使用了共通的汉字而对中国人来说容易学习。然而，因为读音、词语用法都不相同，应该说也并不那么简单吧。

新出語彙4

ぶんかざい (文化財) [名] 文物, 文化遗产

こんちゅう (昆虫) [名] 昆虫

もちぬし (持ち主) [名] 所有者, 所有人

なくす (亡くす) [動1他] 死, 喪, 失去

たおす (倒す) [動1他] 推倒, 放倒; 推翻; 打败

かべがみ (壁紙) [名] 墙纸, 糊墙纸, 壁纸

こうてん (好天) [名] 好天气, 好天

にぎわう [動1自] 热闹, 拥挤; 繁荣, 兴旺

へいじょうきょう (平城京) [专] 平城京

せんと (遷都) [名・サ変自] 迁都

ぎげん (起源) [名] 起源

おう (王) [名] 国王

ぎがくめん (伎楽面) [名] 伎乐面具

すいこおう (酔胡王) [专] 醉胡王

かわぶくろ (皮袋) [名] 皮口袋, 皮囊

かたどる [動1他] 仿照, 模仿; 形象化

みずいれ (水入れ) [名] 水壶

しつこそん (漆胡樽) [专] 漆胡樽

かんらんきゃく (観覧客) [名] 游览者

ざつぎだん (雑技団) [名] 杂技团

ショー [名] 表演, 演出; 陈列, 展览

ヴェルサイユきゅうでん (~宮殿) [专] 凡尔赛宫

みずくみ (水くみ) [名・サ変自] 汲水

かちく (家畜) [名] 家畜, 牲口

いたむ (痛む) [動1自] 疼痛, 痛苦

こころがいたむ (心が痛む) 痛心, 伤心

〜丁目 ~丁目

初〜 初〜, 第一〜